

知床の窓から見えるもの

2023年9月20日（水曜日）

「ふるさと少年探検隊 保健係は見た！」

<ケース1>

前日に続き海遊びの日。ベースキャンプ地であるモイルス湾から岩場を少し歩いたところにある場所で、昆布が揺らめく海の中、みな楽しそうにウニを取ったりして遊んでいたところ、Aちゃんの具合が悪いようだと言った担当カウンセラーから連絡がありました。

本人は遊びたいけどなんだか体の不調を感じている様子。パッと見たところ、顔色もやや蒼白な感じで、小刻みに震えており体が冷え切っているようでした。

特に持病もない子で、前日の海遊びの時も同じようなことを言っていたそう。気温はそこまで低くはなかったのですが、まずは低体温の可能性が高いと考え対応することに。しかし、本人は乾いたタオル・衣類の持参がなかったため、スタッフのタオルを借りて水分をふき取り、救急グッズに入れておいた保温シートを金色を表にしてかぶせました。（人生初の保温シート活用！）別のスタッフに温かい飲み物を持ってきてほしいと依頼しましたが、キャンプ地から離れていたため船で来るかもしれないと時間がかかりそう…ということで、昼食調理のために持参していたキャンプバーナーをつけ、暖を取ってもらいながら待つことにしたのですが、その時、Bちゃんも同じような症状が現れ具合が悪いとの知らせ。で、これまた乾いた衣類を持参しておらず、別のスタッフのウインドブレーカーを着せ、バーナーで暖を取って様子を見ました。その後、ホットカルピスが届きAちゃん、Bちゃんに提供。（残りのホットカルピスは、カウンセラーやスタッフが、その他の子供たちにも提供してくれて助かりました）二人とも徐々に回復し、昼食は仲間たちと一緒に食べ、自分の足で歩いて帰ることができました。

<ケース2>

楽しそうにプログラムに参加していると思えば、時折、咳込みが激しくなるCちゃん。本人曰く、喘息の既往があるそうなのですが、吸入薬の持参はありませんでした。咳込みだした時の様子といえば…咳は乾性で、時折、嘔気も交じる。口唇の色は悪くはない。喘鳴・呼吸延長なし。胸が痛いわけでもない。問いかけには、文章で返答可能。嘔声なし。皮膚症状や消化器症状もない。発熱もない。痰が絡むようなこともない。そして、咳込んでいても不意に友達と楽しそうに話し始めることができている。ということで、身体的には緊急性や重症感は高くはないと判断しました。Cちゃんは探検隊に参加するのは初めて。今年はお天気の移り変わりも激しく、過酷な自然環境での生活。ケータイの電波も届かない場所で、家族から離れての暮らし。いくら仲良しの友達が参加しているとはいえ、小中学生にとっては想像を絶する経験のはず。咳は心因性の可能性が高いのではと思います、まずは温かい飲み物（インスタントココア）を飲みながら、Cちゃんの語りを聞き様子を見てみましたが、咳が出ることへのつらさは変わらない様子でした。とはいえ、救急グッズに咳止め薬は常備していないので、どうしようかと思いつめがらせていたその時…インスタントココアの袋の背後に、朝食のパンケーキを食べるときに使ったハチミツのボトルが！！Cちゃんは聡明な子だったため、子供の咳にはお薬よりもハチミツが効くらしいとの説明を行ったところ、スプーン1匙をペロリ。すぐに効き目が出ないことに不安そうではありましたが、その日の就寝前には「咳、治った！」と駆け寄ってきてくれました。翌日から、咳が出ればハチミツをペロリしてもらい、Cちゃんは何とか最終日まで乗り切れました。

尚、このお話は 7/29～8/3 に行われた「第 39 回 ふるさと少年探険隊」をもとにした、限りなくノンフィクションに近いフィクションです。



観音岩から下ったところで休憩中